⑶　国からの承継時において、附属病院の財産的基礎と考えられる未収附属病院収入のうち、国からの出資でなく譲与としたことによるもの　903百万円
⑷　国からの承継時において、附属病院の財産的基礎と考えられる医薬品及び診療材料について、国からの出資でなく譲与としたことによるもの　773百万円

6．積立金の国庫納付等
⑴　前中期目標期間最終年度の積立金の期末残高は24,141百万円であり、これに前中期目標期間の最終年度の未処分利益15,890百万円、目的積立金の使用残額526百万円及び前中期目標期間繰越積立金の使用残額21,630百万円を加えると、積立金は62,188百万円となります。
⑵　この積立金62,188百万円のうち、今中期目標期間の業務の財源及び固定資産の見合い等として繰越の承認を受けた額は62,038百万円であり、差し引き149百万円については国庫に納付いたしました。

7．土地の譲渡に伴う資本金の減少
⑴　譲渡した土地の帳簿価格及びその概要
名称：野尻寮跡地
帳簿価格：23百万円
面積：2,725.46㎡
所在地：長野県上水内郡信濃町大字野尻海端365外
⑵　譲渡理由
閉寮後の跡地について、本学学生・教職員等の利用が見込まれないため
⑶　譲渡収入の額
19百万円
⑷　独立行政法人大学改革支援・学位授与機構への納付額の算定に当たり譲渡収入より控除した費用の額
１百万円
⑸　独立行政法人大学改革支援・学位授与機構への納付額
９百万円
⑹　独立行政法人大学改革支援・学位授与機構への納付が行われた年月日
平成29年３月31日
⑺　減資額
11百万円

Ⅵ．減損会計関係
１．減損を認識した固定資産

（単位：百万円）

用　途	種　類	場　所	帳簿価額	減損の認識に至った経緯	減損額のうち損益計算書に計上した金額	減損額のうち損益計算書に計上していない金額	回収可能サービス価額	算定方法の概要
宿泊施設（常呂研究施設宿舎）	土地	北海道北見市	12	※１	―	6	使用価値相当額	※３
職員宿舎（西千葉宿舎）	建物	千葉県千葉市稲毛区	72	※２	―	46	使用価値相当額	※４

注）　１．減損の認識に至った経緯については以下のとおりであります。
※１　市場価格の著しい下落がありました。
※２　翌事業年度以降使用しないという決定を行ったことで、入居率が低下したため。
２．算定方法の概要については以下のとおりであります。
※３　当該資産の鑑定評価額に鑑定評価時以降の市場価格の下落率の割合を乗じて算出しております。
※４　減価償却後再調達価額を算出することが困難であるため、当該資産の帳簿価額に使用が想定されていない部分以外の部分の割合を乗じて算出しております。
３．帳簿価額は、減損の認識を行った時点の金額を記載しております。

Ⅲ．損益計算書関係
１．当期総利益のうち、2,307百万円は法人移行時における固有の会計処理等に起因するものであり、その内訳は下記のとおりであります。
国からの承継時において、附属病院の建物、構築物等の時価評価等により、借入金見合いの資産の額が、当該借入金に係る債務負担額を下回っていたこと等によるもの

附属病院に関する借入金の元金償還額	3,441百万円
当該借入金により取得した資産の減価償却費	1,133百万円
当期総利益に与える影響額（差引き）	2,307百万円

２．「その他財務利益」にはライセンス対価として受領した新株予約権の権利行使により取得した有価証券の売却益269百万円が含まれております。

Ⅳ．キャッシュ・フロー計算書関係
１．資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金	110,696百万円
うち定期預金等	△ 50,500百万円
資金期末残高（差引き）	60,196百万円

２．重要な非資金取引は以下のとおりであります。

⑴　現物寄附による資産の取得	4,051百万円
⑵　ファイナンス・リースによる資産の取得	5,778百万円

Ⅴ．国立大学法人等業務実施コスト計算書関係
１．引当外退職給付増加見積額において
国又は地方公共団体からの出向職員に係る者は６名、△１百万円になっております。
２．国等の財産の無償又は減額された使用料による賃借取引の機会費用の計算方法
不動産は近隣の地代や賃借料を参考に計算し、動産は減価償却費相当額を計上しております。
３．政府出資等の機会費用の計算に使用した利率
新発10年国債の平成29年３月末利回りを参考に0.065％で計算しております。